

おもしろいことや耳より情報など、身近なまちのニュースがありましたらぜひ教えてください。
秘書人事課 ☎ 72-7646 ✉ koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp



高井市長に目録を贈る制作者の河崎良行さんとご家族



11.30 正面からも見て 小便小僧の石膏像 寄贈

「祖谷溪の小便小僧」の原型となった石膏の像が、制作者の河崎良行さん（徳島市）から三好市に寄贈されました。河崎さんは当時4歳だった長男をモデルに高さ約1メートルの像を制作し、1968年に祖谷溪谷に設置されました。かつて子どもたちが崖に立って度胸試し

をしていたという逸話もありますが、当時の副知事が危険除去とともに新たな観光名所に、と河崎さんに像の制作を依頼したそうです。贈られた石膏像は、市役所新庁舎完成後には市民の皆さまにご覧いただけるように設置する予定です。

祝 100歳



三宅 不二男 さん
池田町白地



12.19 健康なまちづくり 包括連携協定締結式

三好市と日本生命保険相互会社徳島支社の包括連携に関する協定の締結式が、三好市役所で行われました。これは、健康増進・疾病予防やスポーツ振興など8項目で連携・協力し、市民の福祉向上、地域の活性化を目指すものです。また、同社からは元池田高校で、現在は同社野球部監督の梶田茂生氏も同席され、子ども野球教室の開催に向けて協力をお願いしました。



1.7 三好市消防団出初式 地域防災の誓いを新たに

三好市消防団出初式が池田総合体育館で開催され、52分団約400名が参加しました。冒頭で「令和6年能登半島地震」で犠牲になられた方々に対して黙とうが捧げられ、大西連合消防団長から団員への労いの言葉と、培った知識や経験を地域にも広げ、地域防災力の向上にも努めていただくようお願いするといった訓辞があり、消防団員らは防火防災活動への誓いを新たにしました。



1.9～ 祖谷のかずら橋 架け替え作業始まる

国の重要有形民俗文化財に指定されている祖谷のかずら橋で、地元グループ「かずら橋保勝会」が伝統的な方法による架け替え作業を1月9日から始めています。材料となるシラクチカズラは、高知県大豊町の国有林で総重量6トンもの量を採取しています。架け替え作業は2月中旬ごろに完了し、通行が再開される予定です。また、かずら橋の歴史や材料の説明を受け、間近で作業を見学することも行われました。3年に一度の架け替えは、世界の持続可能な観光地TOP100に選ばれたことでたくさんの注目を浴びています。装いを新たにしたかずら橋をみて、ぜひ受け継がれた伝統を感じに来てください。